

# おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2018 10 第32巻10号  
(通巻374号)



2018年の夏は全国各地で観測史上最高気温を更新するなど記録的な猛暑だった。甲府市では7月23日に最高気温40.3度を記録した。とくに7月14日から26日までの13日間、最高気温35℃以上の猛暑日が続いたのにはうんざりした。7月と8月の猛暑日を数えてみたらなんと31日。半分が猛暑日なのだ。しかし10月になるとさすがに夏の名残はもうない。いよいよ紅葉を楽しむ季節だ。金峰山を源に増富ラジウム温泉峡を東西に横断し、みずがき湖（塩川ダム）まで続く本谷川は平成の「名水百選」に選ばれているが、清澄な水の流れとともにカエデやミズナラの紅葉も見事。溪谷浴いには、親水スペースが整備され、誰でも気軽に水とふれあうことができる。鮮やかな紅葉を愛で、川のせせらぎや鳥のさえずりに耳を澄ます季節がやってきた。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1 説明と納得の  
医療

2 多職種の連携

3 「こちよさ」の追求

4 社会参加の推進

# 突然の心停止に対する トレーニング



私たちは患者さんが急変した状況でも質の高い医療を提供したいと考えています。患者さんの急変時、そこに居合わせたスタッフがどう動き、駆けつけた医療チームのなかで各自がどのような働きをすべきか。いざという場面で戸惑うことなく各自が役割を果たすことで質の高い医療が提供できます。

心肺蘇生トレーニング人形が新しくなり、訓練用AEDをそろえ、突然の心停止に対する対応と適切なチーム蘇生のためのシミュレーショントレーニング、①BLS(二次救命処置)②FBAO(異物による気道閉塞解除)③KCLS(峽西病院二次救命処置)の3つのコースを設けました。医療従事者向けの蘇生トレーニング



グコースであるアメリカ心臓協会(AHA)のACLS、BLSまたは救急医学会のICLSコース受講者6人が指導者となり昨年から蘇生トレーニングをはじめました。

今回行われたBLSコースでは心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)とAED(自動体外式除細動器)、バツグ・バルブ・マスクによる人工呼吸法を身につけることを目的にトレーニングを行っています。

「自分の番になったら緊張して頭が真っ白になってしまった」という介護職のAさん。看護師のBさんは「前の職場でもトレーニングを受けていたので技術の確認ができました。精神科でここまでやるのはすごいと思いました」と感想を述べていました。

## 新任者研修

# 「認知症患者の介護」を受けて

今回の新任者研修を経て、認知症についての理解が深まった。自分はまだ精神科看護師としても、看護師そのものとしても未熟。そのため日々の業務の中で思うように関わりが上手くいかず悩んでしまったり、苛立ちを覚えてしまったりすることもある。講義では援助者の苛立ちも認知症の方々にも伝わってしまうと学んだ。その結果患者さんたちが苛立ちを感じてしまい不穏に繋がることもあるのだと。「同じ時間でも認知症の人にとってはゆっくり流れている」という講義内容が心に残った。

また、認知症は後天的な障害であり、一度は正常に知的機能が発達しているということを再確認できた。講義の中では認知症の症状だけでなく、代表的な関わり方の技法などを学ぶことが出来た。また、現在峽西病院で行われている行事を知ることができたのも大きい。これからの日々の関わりの中で、その人の歩んできた人生やその人自身の「その人らしさ」を認めていきながら関わっていききたい。

アスピール病棟 宮下竜太郎



平成29年度 目標管理発表会



◇ 敢闘賞 ◇  
プリエ病棟  
(現リスタート病棟)  
秋山あけみ

設定目標

次のテーマで看護研究を行う。

知的障害を持ち解離性・転換性症状がある患者とのかかわりの検討―患者・看護師関係において感情表出がみられた言動に焦点をあてて―

はつらつ

解離性・転換性症状は、過度のストレスや対人関係の不安定などにより生じ、知的障害を持つ患者さんが併せもつことは少なくありません。この症状は患者さんが自分を守り、不安を減少させる適応的側面があります。症状からの回復には、患者さんが自分の状態を正直に伝えることが大切であり、そのためには安定した対人関係の経験が不可欠です。

本研究の目的

患者Aさんとのかかわりの中で、

感情表出がみられた言動の傾向を明らかにし、自立した問題解決に向けた看護について検討する。

データ収集方法

診療記録や看護記録、Aさんと担当看護師がコミュニケーションに用いたノートから収集しました。

分析方法

①解離性・転換性症状、自傷行為が起きた場面ごとに感情が表出されている言動を抽出し、②内容を比較してペプロウの「患者―看護師関係の4段階」を参考に整理しました。

結果

第1段階(方向づけ～同一化)

担当看護師や特定の看護師に対して相手を試していた段階です。

特定の看護師に訴えや症状出現が多かったです。担当看護師は必ず目を見て元気な声であいさつし、元気がないと感じたときは遠くからでもサインを送ったり、食事時間をAさんと合わせ、見える位置で食べたりしました。

第2段階(同一化～開拓利用)

少しずつ自分の感情を伝えること

を試していた段階です。

症状出現時の様子を看護師に伝えようとすることが増えました。Aさんから話をしてきた際には、たまには感情を出すことも必要で、その後は回復できるようになることが大事と伝えました。

第3段階(開拓利用)

ここでは、担当看護師と一緒に過去のことや今後のことを考えようとなりました。

相手の都合も聞き入れ、約束を守ってくれるという信頼関係のもとに進めようとしていました。過去の振り返りをしつつ、自分から変わろうとしている言動もみられました。

考察

第1段階

看護師を試しつつ自分がここにいて良いとの肯定感を得ようとし、担当看護師は最初の挨拶から警戒心や緊張を与えないよう意識したことが一緒に問題解決していく存在として伝わりました。

第2段階

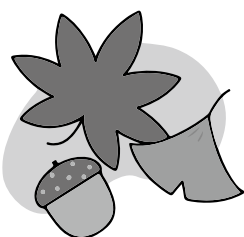
知的障害でうまく話せないと感じていたAさんは、言葉だけでなくノートに書き、返事を読むことで自分を理解してくれているかを確認していたと考え、症状出現時やその後振り返りを行えるようになりました。

第3段階

担当看護師の都合も視野に入れて一緒に振り返る時間を調整し、看護師を自立した問題解決に向けて開拓利用する存在として必要としたと考えられ、その経験を経て、担当看護師との関係が継続していることで、その関係性に信頼感を持ち簡単に壊れないと理解しました。

結論

1. 患者さんが希死念慮や解離性症状を起こす時は、ここにいて良いとの肯定感を得ようとしている。看護師は警戒心や緊張を与えないようにかかわる。
2. 患者さんがうまく話せずノートに書く時は、自分が理解されているか確認している。看護師は不安を受け止め、振り返りができるようにかかわる。
3. 患者さんが自立して問題解決に向けて看護師を必要とした時は、その関係性に信頼感もてるよう継続してかかわる。

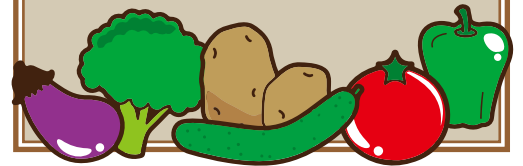


# OTだより

## 園芸G



クレル病棟園芸Gでは、今年もいろいろな野菜を作って来ました。中でも豊作だったのはブロッコリー・ジャガイモ・トマトや茄子です。食べきれないほど収穫でき、どのように保存しようか？どのように調理しようか？と考えながら収穫しています。ナスは現在醤油漬けにして保存してあります。園芸の作業を終えた後、この漬け物をお茶を飲みながら食べるのは格別で、食べながら「次には玉ねぎが作りたいね」「こかぶがいいよ」など皆さんから自然に意見が出されて次の活動につながっています。



8月15日(水)OTホールにてかき氷会が行われました。今年の夏はとて暑く如春館のエアコンがオーバーヒート。応急処置で病院中の扇風機を集めたのですが、幸いすぐに復旧し、冷凍庫に準備した大量の氷が必要なくなりませんでした。購入したのが上高地の天然水を使った氷。水にするのはもったいないという事で急遽かき氷会を行うことになりました。今流行の天然水でのかき氷、スタッフが業務用の手回しかき氷機を貸し出してくれたため、ふわふわのかき氷が出来上がりました。お味はどうでしたでしょうかね。



## 流しソーメン会

8月30日(木)毎年恒例の流しソーメン会を開催しました。OTホールに張り巡らされた流しソーメンの装置は今年も、少し高さがあり、流れもいつもの年よりも急なところが多かったようです。しかし、多くの皆さんが、勢いよく流れるソーメンを、割り箸でキャッチし、たくさんのお麺をとることが出来ました。ポークビッツのキャッチもとても上手でした。今年初めて参加した方々も「なんでもこんなに美味しいのかしら」と何人かの方が話していました。



# デイケアChannel

## 今月の デイケア活動紹介

《プログラム名》  
ストレッチ

毎週水曜日午後

《活動内容》

アロマの香りを活用し、音楽を聴きながら、ホットパックを使って心身のリラックスを図っています。最後には参加者全員でストレッチをしています。

参加者からは、「とにかく気持ちいいです」「疲れがとれて、リラックスできます！」といった声が寄せられています。午後のひとときを使って、「積極的な休養」をとってみませんか？

《問い合わせ》

興味がある方や、参加ご希望の方はお近くのスタッフまでお知らせください。デイケアスタッフがうかがいます。

# ろうけん Times ★

秋になり、涼しい日が増え過ごしやすくなってきました。9月17日は敬老の日。利用者皆様に楽しんでもらうため、カラオケ大会を開催しました。職員も参加し利用者様と大変盛り上がり楽しい敬老会となりました。



## 地域連携室って…?

今回は、峡西病院の地域連携室について、精神保健福祉士の工藤和代子さんにお聞きしました。

## Q. 地域連携室 スタートして4カ月・・・

徐々に院内でも認知されはじめました。しかし、患者様にはまだまだといったところ。電話が相談心理室と兼用のため、ご家族、患者様が混乱してしまうことが度々あり、ご迷惑をおかけしています。やり取りの多い医療機関、関係機関には認知され始めたところでしょうか？ようやく「地に足がついてきた」!?

## Q. ワーカーしかないの？

ソーシャルワーカーの他、看護師1名も在籍しています。患者様からは「看護師辞めてワーカーになったの？」と声をかけられることもあったとか・・・。

## Q. どんなことをするの？

当院を受診される方や受診を検討中の方の相談支援（初診・入院相談、他医療機関の紹介等）、医療機関および関係諸機関との連携の強化（カンファレンス等への参加含む）、外来医療に関わる部署間の連携、退院後のサポート、外来部門の相談窓口等（年金、手帳等各種制度利用相談等）の業務を行っています。独り部署ではないことで、受付者不在時も速やかに対応が取れます。認知症相談対応と精神科相談対応と担当制を導入しています。看護師はどちらも相談対応しています。

## Q. 読者のみなさんにひとこと！

連携室に期待されることも多く、その全てにこたえられない現状、申し訳なく思っています。「連携室があってよかった」と感じていただけるよう、ご期待に添えるよう、一歩ずつスタッフ一同頑張っていきます。よろしくお願い致します。

## スタッフ紹介

・上田 譲二 (室長) ・塩澤 千晶 (看護師) ・川口 敦 (認知症担当) ・工藤 和代子 (精神担当)

◆電話:055-282-2151(代表)(内線201) ◆FAX:055-284-4886(代表) ◆場所:峡西病院 相談心理室内

◆出身地：埼玉県・越谷市  
◆好きな有名人  
…エグザイルのATSUSHI



伊藤 志信  
労務員  
(施設・設備管理)

◆趣味：映画鑑賞・旅行  
◆好きな食べ物  
…カレー・甘いもの  
◆抱負：笑顔で楽しく働いていけるように、日々努力していきたいと思えます。



早川 凧紗  
作業療法士  
(峡西老人保健センター)

◆趣味  
…社交ダンス・ドレス作り  
◆出身地：神奈川県横浜市  
◆好きな食べ物  
…畑で収穫した野菜



望月 貴子  
支援相談員  
(峡西老人保健センター)

新  
入  
社  
員  
紹  
介

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

## ■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。

趣味と言えるほどではありませんが、読書が好きです。学生の頃は「風と共に去りぬ」にはまり、スカーレット・オハラのように強くありたいと思ったりしました。ここ数年は東野圭吾にはまっています。ガリレオシリーズが有名で、エンジニアだった作者の知識が生かされていて、複雑なトリックなど読み応えがあります。

最初に東野圭吾を知ったのは、12年ほど前にドラマ化した「白夜行」です。孤独な少年が、闇を抱えた一人の少女を救う為、罪を犯し、幽霊のように生きようとする想いが切なくて涙無くしては観られませんでした。この原作を読みたいです。

## 私の趣味

手に取ったのが始まりでした。もう何十冊と読みましたが、この「白夜行」が今でも一番の気に入ります。切ない話では、「手紙」もあります。加害者の家族に視点を置いた話です。加害者本人は謝罪の手紙を書くことで罪を償おうとしますが、家族は何をするあてもなく、どこへ行っても突き付けられる試練に現実の厳しさを痛感します。この「手紙」映画化もされていますが、今年の冬、亀梨和也さん出演でドラマ化されるようです。是非ご覧頂き、よろしければ原作も読んでみて下さい。

事務グループ 保坂 聡子

# 万華鏡

こんにちは。久保田といいます。今年の4月から峡西病院で外来を担当させていただいています。8月某日、峡西病院での1日の外来診療が終わると、「おあしすの万華鏡に記事を書いてもらいたい」とお願いをされました。どんな記事を書こうかと悩みましたが、今回は順当に、自己紹介をさせていただくことにしました。

出身は山梨県で、両親のもとで優しく厳しく育てられました。兄弟は

気の良い弟が一人です。小学校の頃は本当に身体の小さな子供で（今でも小柄ですが）、その上、引っ込み思案だったので、2000年のオリンピックで、小柄な谷亮子選手（当時は田村亮子選手でした）が柔道で優勝したことに憧れたのをよく覚えています。それをきっかけに、小学校時代に柔道を習ったことがありました。幼少期に、自分よりも身体が大きき相手に挑んでいく経験を続けたことは、非常に恐ろしい経験であったと同時に、引っ込み思案だった自分にとっては良い経験だったと思っています。

中学校では、今も趣味として続けているテニスをはじめました。この時の仲間とは、互いに競い合いながら高めあう経験ができました。最近

この頃の仲間と出会う機会が増えて、「またテニスをしよう」という話が出ています。とても楽しみにしていて、今の自分の心の支えにもなっています。

その後、山梨の高校、大学を経て、初めて就職したのは山梨県内の病院でした。現在は東京都内の病院で仕事をしながら、峡西病院で外来を担当しています。今は、東京から毎週山梨に通う生活ですが、そのうち山梨に帰ってきて、診療をできればなあと思っています。

今後色々なところで山梨県の皆様にお世話になります。これからよろしくお願ひします。

医師 久保田 涼太郎

## 「こちら編集室」

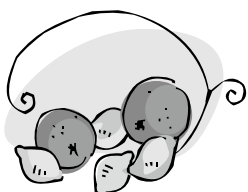
今年の夏はとても暑かった上に、災害にも多く見舞われました。災害に遭われた方はお見舞い申し上げます。精神的なストレスと肉体的なダメージで身体はへとへとになって人が多くいることと思います。

今の時期台風などで体調不良になる「気象病」と呼ばれる症状もあるようです。そこで秋を元気に迎えるためのアドバイスを載せてみたいと思います。

身体を伸ばす、動かすなどを意識して行なっていますか？ただ歩くのではなく自分の体のどこをを意識することで効果が倍増します。深呼吸をするときも、意識して酸素を体内に取り入れてみましょう。

身体を温める事も大切です。特に、エアコンで冷えた身体を突然動かすと筋肉が驚き肉離れなんてこともあります。60℃くらいの白湯を飲んだり、ゆつくりとお風呂に入ったりして交感神経が働くようにしましょう。柑橘系のフルーツやお酢などすっぱいものが効くそうです。

(7)



**今月の予定 10月**

- 16日 新任者研修  
「訪問看護の実際」
- 20日 南山会 秋祭り
- 24日 院内研修  
「個人情報保護について」

# 南山会 秋祭り

## 10月20日(土) 午後 開催予定

どなたでもご参加いただけます！  
お気軽にお立ち寄りください。  
※雨天時は規模を縮小して行います。

来場者に  
模擬店無料券  
配布！

### おあしす 広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

朝顔の色とりどりの花の宴えん

山梨や たゆまなくある 秋の川

今福 和人

初秋にて冷えたる日々年取りて  
足には冬の足袋履きたるや

大森真知子

新涼や朝の庭から虫の声

阪本みずほ

新涼やめくる暦に水の色

塚原 光明

暗い心の夜空が開けりや  
草も輝く青春の朝がみんなにやってくる

長畑 章弘

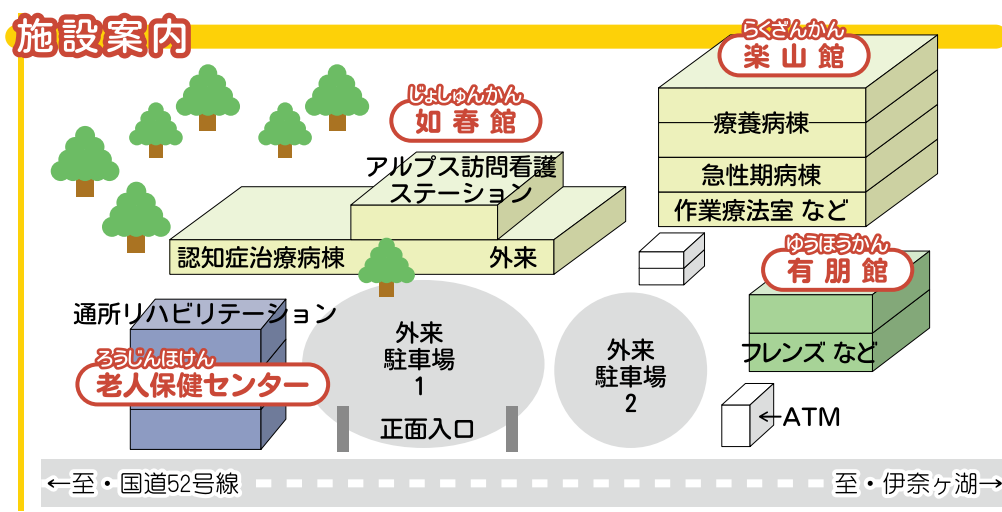
虫の声このひと月にぎょうしゆくし

羽村 茂

すずしげに まつぼっくりが  
あつたとき

渡辺 あき

※掲載は五十音順です。



- ### 交通案内
- JR中央線  
甲府駅より車で40分
  - JR身延線  
東花輪駅より車で15分
  - 中央高速  
甲府昭和ICより車で30分
  - 中部横断道  
南アルプスICより車で5分
  - 山交バス  
甲府-南アルプス市甲西支所行き  
(十五所経由) 鵜沢営業所行き  
(西野経由) 鵜沢営業所行き  
小笠原下仲町バス停徒歩5分